

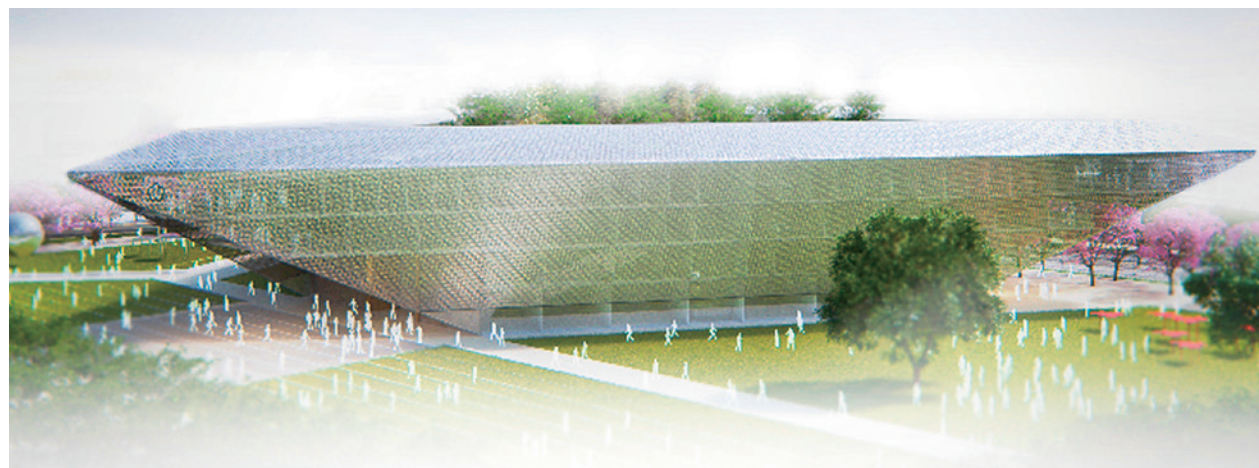
2019年4月、大阪府茨木市JR新駅近くに新キャンパス開設予定!

追手門学院大学

2キャンパス化

追手門学院中・高等学校

全面移転



大学の外観イメージ(予定) [側面]

大学は全学部1年次生と地域創造学部、国際教養学部の学生が新キャンパスで学ぶことになります。自治体や地元企業、地元の住民との連携によるフィールドワークやアクティブラーニングのほか、世界ともつながる新しい拠点として機能します。中・高等学校では、生徒主体の「個別型の学び」「協働型の学び」「プロジェクト型の学び」を軸とした複合型の学びへと転換できる施設を整備。教室や廊下をラーニングスペースとして活用するため教室2面の壁をなくして可動式の間仕切りとし、無線LANも備えるなど、新たな教育観・授業観を体現する環境を創出します。



中・高の外観イメージ(予定)



追手門学院小学校の校地を拡張し、新東館を新たに建設

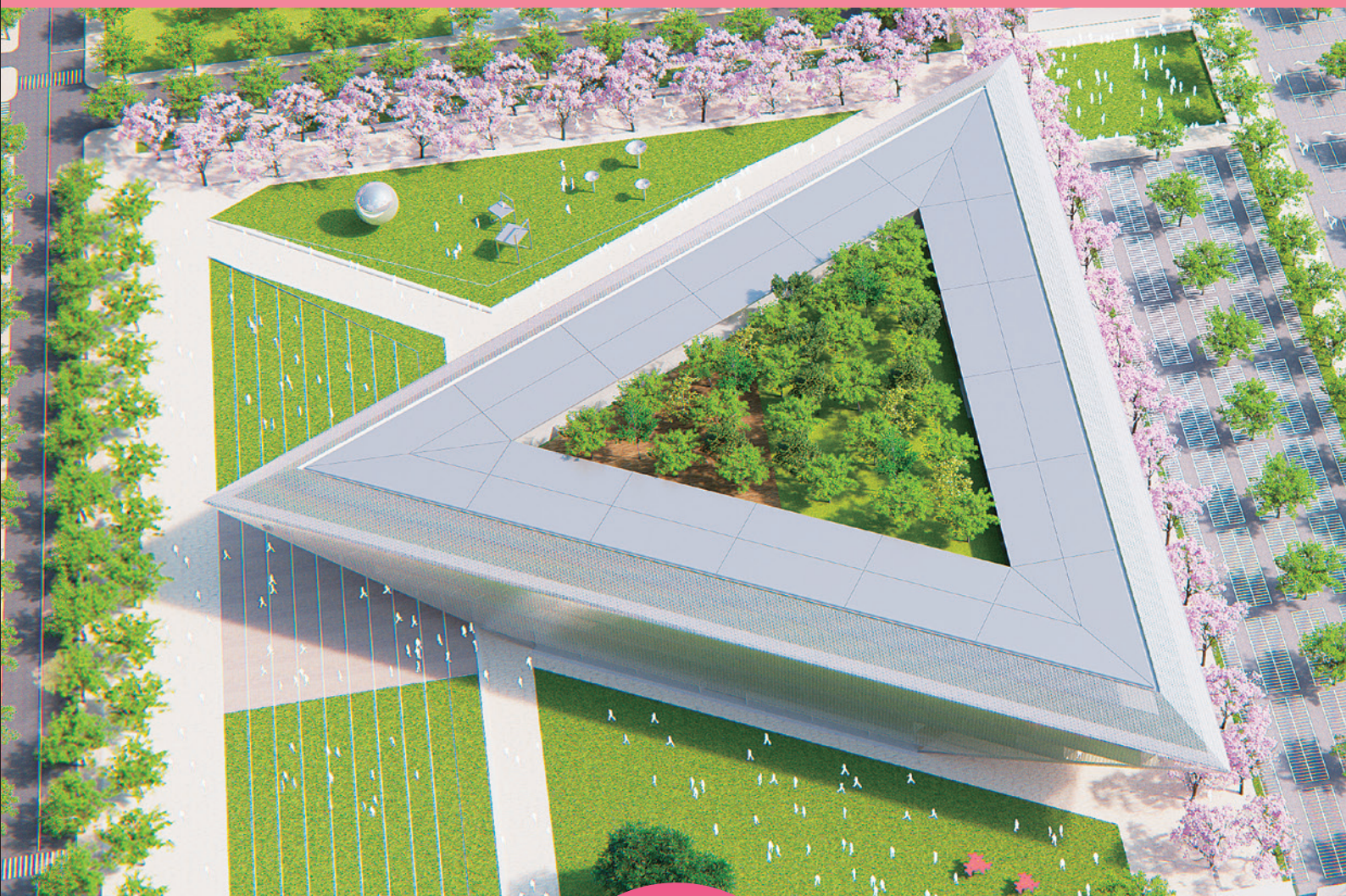
追手門学院小学校

英語教育・ICT活用教育の新拠点誕生へ

小学校の新たなシンボルとなる新東館(特別教室棟)の建設を進めています。現在の東館には、習字室、ピロティクラブ室(放課後預り)、図書館、イングリッシュルームと教育工学室が設置されています。これらの機能に加えて、2020年から施行される新学習指導要領の内容を踏まえた新しい英語教育・ICT活用教育を担う拠点となる、特別教室棟として2019年3月に竣工予定。次世代イングリッシュルームやICT施設、図書館施設など、最先端の技術と教育機器を取り入れた未来型学習拠点となります。さらに校地拡張により、念願であった運動場の拡大も実現します。



小学校新東館の外観イメージ[北東交差点から]



追手門学院大学
校友会会報

>>> P.15

学校法人
追手門学院

mon [追手門学院]

>>> P.2

vol.3

3誌特別
合併号

vol.84

vol.99

山桜會報

>>> P.8

オール追手門は、 新たなる ステージへ

創立130周年に向けて ステークホルダーの結集を図る

2018年、追手門学院は創立130周年という大きな節目を迎えます。今後競争が激しさを増す学校経営において、学院を中心にすべてのステークホルダーが結集し共に走って行く態勢の構築は不可欠です。「mon」「校友会会報」「山桜会報」の3誌合併もその一環。皆の力を合わせて、追手門学院の国内外に対するプレゼンスを高めていきたいと考えています。

また、ステークホルダー結集のもうひとつの具体化が大学、中・高等学校、大手前中・高等学校、小学校及び幼稚園PTAで構成する追手門学院教育振興会です。

追手門学院教育振興会

組織

- 大学教育後援会
- 中・高等学校PTA
- 大手前中・高等学校PTA
- 小学校PTA
- 幼稚園PTA

賛助団体

- 追手門学院校友会 山桜会
- 追手門学院大学 校友会
- 追手門学院大学卒業生保護者の会
- 追手門学院卒業生父母の会

本誌は、「mon(追手門学院)」「校友会会報」「山桜会報」の3誌特別合併号です。



学校法人 追手門学院

[大学・大学院] 6,833名
[中・高等学校] 1,244名
[大手前中・高等学校] 861名
[小学校] 876名
[幼稚園] 415名

※2017年5月1日現在



学校法人
追手門学院

OTEMON GAKUIN



幼保連携型認定こども園 追手門学院幼稚園

0歳児(8カ月)から5歳児までの保育・教育を実施。個性を大切に一人ひとりの夢の実現を目指します。

〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町1-3-3
TEL.06-6871-2986(教育課程)
TEL.06-6871-1880(保育課程)



追手門学院大学
校友会

Otemon Gakuin University
ALUMNI ASSOCIATION



山桜会

Otemon Gakuin Koyukai
YAMAZAKURAKAI



追手門学院小学校

1888(明治21)年創設の西日本で最も伝統のある私立小学校。教育目標に「敬愛・剛毅・上智」の3つの柱を掲げています。

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
TEL.06-6942-2231



追手門学院 大手前中・高等学校

「学力伸び率・授業力・成長伸び率」3つの指標でナンバーワンを掲げる進学校です。

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
TEL.06-6942-2235

中・高等学校

- スーパー選抜コース
- 特進コース
- 進学コース

追手門学院大学 校友会

校友会は、追手門学院大学・大学院の卒業生によって運営されている組織です。

[会員数] 53,514名



追手門学院大学・大学院

5年連続志願者数増加。主要私大の2015年度一般入試志願者数ランキングで、前年比伸び率全国1位。2016年には創立50周年を迎えました。

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15
TEL.072-641-9608

大学

- 経済学部
- 経営学部
- 地域創造学部
- 社会学部
- 心理学部
- 国際教養学部

大学院

- 経済学研究科
- 経営学研究科
- 心理学研究科
- 文学研究科

追手門学院校友会 山桜会

山桜会は、小学校、大手前中・高等学校、中・高等学校の卒業生によって運営されている組織です。

[会員数] 38,358名



追手門学院中・高等学校

国際教育やコミュニケーション教育など、特色あるメソッドをもつ進学校。2019年春、新キャンパスに全面移転します。

〒567-0008 大阪府茨木市西安威2-1-15
TEL.072-643-1333

中学校

- 特別選抜コース(特選SSコース)
- 特別進学コース(特進SSコース)

高等学校

- 特選SS
- I類
- II類
- II類表現コミュニケーションコース
- II類スポーツコース

現代末聞の 改革を

学院、山桜会、校友会の トップからのメッセージ

少子化とグローバル化が進展するなか「現代末聞」の改革を推し進める追手門学院。
今後はより一層学院、山桜会、校友会が連携し、相互に情報を共有し総合学園としての真価を発揮していきます。



「結束の先に見据えるもの」

このたび、学院卒業生向け広報誌『mon』統合版がついに完成しました。

統合の狙いは、総合学園追手門学院のすべての卒業生に広範囲な学院情報を提供させていただくこと。これにより、母校とステークホルダーとの結束を強化することにあります。同時に、大学校友会ならびに校友会山桜会の相互の同窓会活動がそれぞれの卒業生に認識されることによって、両校友会の連係プレーがさらに促進される効果が期待されます。

私学である追手門学院の発展は、すべてのステークホルダーのご支援とご協力にかかっています。学院は、2018年に創立130周年を迎えます。昨年は、大学創立50周年、校友会山桜会100周年の年でした。学院情報、そして教学改革の姿をステークホルダーのみなさんに共有していただき、さらなる発展につなげていきたいと思っています。2019年4月には、茨木市のJR新駅近くに、新キャンパスを開設する予定です。これにより大学は2キャンパス体制、中高は全面移転を計画しています。新キャンパスでは、他の大学に先んじて、「学生の新しい主体的な学び」を実践していきたいと思っています。学院の先進的な取り組みは、『mon』を通じ、すべての卒業生に情報提供させていただきます。

学校法人 追手門学院
理事長 追手門学院大学学長 川原俊明
(追手門学院小学校71期・追手門学院大手前中・高等学校14期)

「連鎖をつなぐ連携」

学校の評価は、学校が人を育てて有為な人を社会に送り出し、この人が社会で評価され、さらには母校が評価されるという連鎖のなかで高まっていくものです。大阪偕行社附属小学校として開校した本校が、130年の間に、中学、高校、大学、大学院と創立し、さらには幼稚園、認定子ども園をも創立できたのは、ひとえに、長年にわたる学院の教育と卒業生の活動の連鎖の賜です。このような長い連鎖のお陰で山桜会も昨年100周年を迎えることができましたし、卒業生が100年以上にわたって活動を続けてきたから学院の今もあると自負しております。

ただ、学院と卒業生の連鎖は自然に実現できるものではありません。殊に少子化、教育のグローバル化が加速度的に進んでいる現代にあっては、これまで以上に両者の連携を深めていかねば、次の150年、200年と連鎖をつないでいくことはできません。そのためには、学院と卒業生の連携のための「血液」ともいべき情報をすみずみまで行き渡らせることが不可欠です。それぞれの活動を知ることなくして連携の深化はあり得ないからです。今回の3誌の統合が、このような連携のための新たな一歩になることを願ってやみません。

追手門学院校友会 山桜会
会長 平泉 憲一
(追手門学院高等学校 25期)

「130年。さらなる飛躍へ」

2018年追手門学院は創立130周年を迎えます。130年の間、社会で活躍する多くの卒業生を輩出し、まさに社会有為の人材を世に送り続けてきたのが我々の母校追手門学院です。130周年を迎えて、さらなる飛躍を遂げるためには、母校を取り巻く多くの追手門関係者が心をつなげて母校を支援してゆく必要があります。とりわけ山桜会と大学校友会の会員は、その中心となるべき存在かと思えます。

学院広報誌『mon』の発刊にあたって、二つの卒業生組織が参画して学院との三者で発行することになりました。これまで大学校友会会員には大学の、山桜会会員には小中高の情報しか送られていませんでしたが、この統合誌で、追手門学院のすべての情報を卒業生全体で共有できることになります。この広報誌の発刊を一つの起爆剤として、学院創立130周年記念事業を成功させたいと思います。2019年に予定されている新キャンパスの開校は学院130周年事業の核となるものです。両校友会が力を合わせて、この事業が成功するよう支援したいと思っていますので、会員のみなさまもよろしく願いいたします。

追手門学院大学 校友会
会長 林田 隆行
(追手門学院大学 2期)



決意を新たに ～学院創立130周年にむけて～

追手門学院大学・大学院

「勝ち抜く大学」をめざして、今後も改革を断行



学長 川原 俊明

昨年、追手門学院大学は、創立50周年を迎えました。多くの卒業生の活躍は、本学の誇りです。追手門学院大学の発展は、卒業生のご支援なしにはあり得ません。現在の追手門学院大学は、2015年開設の新学部・地域創造学部を含め、文系6学部の総合大学となりました。現在の学生数も7000人弱となり、今後も、学部改組、収容定員増を予定し、近く、8000人規模の大学をめざします。

さらに社会の多様な人材要請を見据え、文理融合系の学部設置に向けて、検討を開始しました。

少子高齢化社会の中で、私学間競争は、激化の一途をたどっています。しかしながら、本学は学院創立130年の歴史を背景に、多くのステークホルダーの強力なバックアップのもとで、「勝ち抜く大学」をめざします。

将来予測が困難な時代において、大学の役割は、未来社会を自ら切り開く人材の育成にあります。そのためにも、従来型の講義体制を改め、学生に主体的な学びの姿勢を身につける教育に転換していきます。しかも他大学に先駆



けて少人数授業体制を積極的に取り入れることにしました。学生自身が自ら学びの重要性に気づき、進んで学びを深めていくことが、大事なことです。

2019年4月には、茨木市のJR新駅近くに新キャンパスを開設します。新キャンパスでは、新入生全員と一緒に学び、充実した基盤教育とともに、学びの姿勢を身につけます。学部として全面移転を想定する地域創造学部と国際教養学部は、フィールドワークを活用して、「世界がキャンパス」「地域のグローバル化」など、他の大学に先駆けて「新しい大学」を展開します。大学の先進的な取り組みは、『mon』を通じ、すべての卒業生に情報提供させていただきます。よろしくお願いします。

追手門学院大手前中・高等学校

節目の時をさらなる飛躍の機会と捉えて、成果を出していく



校長 木内 淳詞

学校にとって、節目の年を迎えることは、非常に大きな意味を持ちます。2018年度に学院の創立130周年、2020年度には両中高の70周年を迎えますので、本校では今までの教育を振り返り、それを踏まえたくて将来の学校像を明確にして、節目の時をさらなる飛躍の機会として捉えたいと考えています。

取り組むべき課題は、①進学強化策の打ち出しとそれによって確かな成果をあげる。②

生徒主体の新たな学びの研究と実践を進め、学力を伸ばして生徒・保護者の満足度を向上させること。③各校園・大学との連携を進め、総合学園としての評価を高めること。④前述の①～③をしっかりと広報し、中学・高校の安定した生徒募集の成果に結びつけること。すべての教育活動は、最終的には社会的評価の表れである生徒募集につながるという意識を持って取り組みを進めてまいります。

追手門学院小学校

次世代のリーダー育成を「伝統」と「革新」の教育で実践していく



校長 東田 充司

学院創立130周年に向けて、発祥校である小学校は、礼儀礼節を踏まえた国際的視野を持つ「志高い子」の育成に努めてまいりました。2020年の新学習指導要領の全面実施に先駆け、多様で質の高い学びを引き出す授業形態へ移行します。

大きな改革は英語教育です。本年度より従来の週1時間を週3時間とし、「聞く・話す・書く・読む」の4技能を効率よく学ぶ環境を整

えました。英語だけでコミュニケーションを行う「Otemon English Village」も開設しました。

東館に隣接した国有地(約1100㎡)を取得し、運動場を拡張するとともに、未来型学習拠点となる新東館を建設します。

語学力と情報収集力の向上を図るほか、ICT教育環境を完備した、主体的・対話的で深い学びの場を実現します。

どうかご支援を賜りますようお願いいたします。

追手門学院中・高等学校

新キャンパスで学びが変わる



校長 原田 哲次

我が国は天然資源も乏しく、少子高齢化、グローバル化が進む中で国の繁栄を図るには人材育成しかありません。通勤の御堂筋線で「sorry」と言う言葉を毎日何度も耳に、地球が小さくなっていることを実感しています。大学入試改革に象徴されるように学校教育の改革が迫られています。生徒には「知識・技術を外国人にも説明し理解させる能力」や「様々な文化、価値観の違う人と共存・共栄していく能力」が求め

られ、教師にはそうした生徒を育てる教師力が求められています。本校はユネスコスクール認定校でもあり、次代を担う「新しい学び」ができる学校を、2019年4月の開校を目指して教職員一丸となって取り組んでいます。様々な学習形態で知識を吸収すると共に、豊富な知識を有効に活用する力を養う新しい教育システムで「独立自強・社会有為」を体現する人材育成を目指します。ご支援を賜りますようお願いいたします。

幼保連携型認定こども園 追手門学院幼稚園

より一層子どもたちの主体性、表現力を育てる教育保育を実践



園長 田邊 雅一

学院創立130周年と幼稚園創立50周年を控え、幼稚園では教育保育内容の質について保護者の皆様より高い推薦度を得ているところです。今後も従来大切にしてきました基本的な生活習慣と一人ひとりの個性を大切に、自尊感情を涵養することを目指します。また、2019年度教育保育要領の改定に向け、より一層子どもたちの主体性、表現力等を育てることを考えたカリキュラムも行っていく所存です。

子どもたちのよりよい保育環境実現のため教育課程園舎の冷暖房機器の刷新を計画しております。創立40周年記念で建設された教育課程園舎は開放的で明るくとても良く考えて設計された建物ですが、築10余年が経過し冷暖房機器の故障多発や能力低下が顕著になってきております。子どもたちにより快適な保育環境を提供するためにも皆様の一層のご厚志をお願いいたします。

山桜会報

Otemon Gakuin Koyukai Yamazakurakai Report

第99号

2017年 6月

追手門学院校友会山桜会 会長 平泉 憲一
〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-20
追手門学院大阪城スクエア
(追手門学院大手前中・高等学校 本館6階)
TEL: 06-6940-3481 FAX: 06-6940-3482
URL: <http://yamazakurakai.com>
E-mail: office@yamazakurakai.com
編集責任: 藤原弘邦

会長挨拶

山桜会の次なる100年に向けて活動していく



追手門学院校友会 山桜会
会長 平泉 憲一
(高[茨木] 25期)

二期目の山桜会会長に着任させていただきました。前期は100周年という大きな節目の行事・企画の実施が中心でしたが、今期は次なる100年に向けて体制確立のために活動していきます。

ただ、何と言っても理事・評議員のみならず一般の会員の皆さま全員の楽しい交流こそが山桜会活動の原動力です。そのためには、会員交流委員会・同窓会サポート委員会を中心として、総務・財務・広報委員会がバックアップし、さらには渉外交

流委員会を通じて学院・在学生・PTAの皆さまとの交流も上げていきます。

同窓会活動の魅力は、何と言っても、お世話になった恩師の先生方や一緒に過ごした友人・先輩・後輩との交流です。そこには昔を懐かしむ楽しい再会と時を経た新たな友との出会いがあります。100周年の時に掲げたとおり、まさに「このころのふるさと追手門」です。今期もふるさとに是非帰ってきてください。お待ちしております。

平成29・30・31年度

新執行部の紹介

この度、任期3年の役員改選が行われ、以下の通り選任されました。これから3年間宜しくお願い致します。



会長 平泉 憲一 (高[茨木] 25期)

理事会

評議員会



副会長 藤村 敬 (小79期)

すべての会員が集う山桜会に、そして誇りある追手門学院の卒業生の会として、永遠に栄える追手門学院に繋がるように努めていく所存でございます。



副会長 藤原 亮 (小84 / 大手前中・高27期)

先輩方が築いてきた歴史と会の基本である「会員相互の親睦、追手門学院の発展に寄与すること」を守りながら、次の100周年に向けて発展するよう努めて参ります。



副会長 林 裕悟 (小97期)

副会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。多くの会員が親しめる山桜会を目指し、さらには追手門学院の発展に寄与するよう取り組んで参ります。

総務委員会

財務委員会

渉外交渉委員会

同窓会サポート委員会

広報委員会

会員交流委員会

特別委員会

総会実行委員会

新年会実行委員会

支部

東京山桜会
会長 山根 雅昭
(小71 / 中・高14期)

追手門のれん会
代表幹事 重里 欣考
(大手前高24期)

新年会 & 委員会活動

平成29年 山桜会新年会

追手門のオリンピックを招いて～追手門から世界へ～

平成29年新年会実行委員長 藤原 亮 (小84 / 大手前中・高27期)

平成29年1月28日、ホテル日航大阪にて山桜会新年会を開催いたしました。大手前中・高チアダンス部によるオープニングに続き、西田真由子さんの「君が代」独唱、平泉会長の挨拶、川原理事長のご祝辞、坂井学長(当時)のご発声による乾杯でスタート。今回は「追手門から世界へ」というテーマで、シンクロナイズドスイミングシドニー五輪・アテネ五輪銀メダリストの巽樹里さん、リオデジャネイロ五輪銅メダリストの吉田胡桃さんらオリンピックのトークに耳を傾けました。続いて大手前中・高チアダンス部、大手前中・高ロボットサイエンス部、茨木中・高女子ラグビー部で活躍する生徒・学生さんの話を聞き交流を深めました。司会のシンガーソングライター松田陽子さんの歌声を聞きながら各テーブルでコース料理を愉しみ、和気藹々とした雰囲気では進行。食事後は恒例の大抽選会で盛り上がり、山桜会100周年記念合唱団によるコーラス、そして大学リーダー部・チアリーダー部と共に全員で校歌斉唱した後、大阪締めで無事閉会となりました。



第18回 山桜会ゴルフコンペ開催

【開催日】2017年9月24日(日)

今年度も山桜会ゴルフコンペを開催します。ラウンド終了後の懇親会では個人表彰と特別表彰を行います。世代の異なる同窓生がゴルフを通じて交流を深められる貴重な機会です。例年参加の皆様も、これまでご縁のなかった皆様も、奮ってご参加ください。

【開催地】アートレイクゴルフ倶楽部

<http://www.artlake-gc.com/>

【組数】24組(定員になり次第締め切らせていただきます。)

【プレー費】約22,000円(参加費は別途)

参加費の金額は、後日改めて案内させていただきます。

【お問い合わせ】山桜会事務局 06-6940-3481

ハイキング同好会



ハイキングと美食・美酒を満喫!

ハイキング同好会 会長 林 裕悟 (小97期)

世代も性別もばらばらのメンバーが集って、ハイキングと美食・美酒を楽しんでいます。とりとめもない話をしながらのハイキング、お弁当に舌鼓を打った後は食後のコーヒー、そして打ち上げでは美食と美酒を堪能。どなたでも参加していただけます。

【次回開催日】2017年10月15日(日)

※詳細は後日、ホームページで公開いたします



会員交流委員会

委員長 池田 賢八郎
(大手前中・高47期)

山桜会に新風を吹かせたい

交流を通じて、多くの方との繋がりを大切にする委員会活動にしていきます。ボーリング大会、グルメ会、ゴルフコンペ、食事会、観劇会など、どなたでも楽しめ、山桜会員の輪が広がると共に、もっと仲間が増えるようなイベントを検討しています。各イベントにおいて、また次の交流会にも参加したいと思っていただけるような企画を実施することで、山桜会に「新しい風」を吹かせていきます。



渉外交流委員会

委員長 坂井 宏嗣 (高[茨木]31期)



学院各校の行事参加などで母校を支援

「小学校・大手前中高・茨木中高の新旧PTA三役と山桜会との懇親会開催」「『将来を考える日』の実施」「大手前中高 錦城文化祭での山桜会まんじゅう等の販売」「茨木中高 PTAスポーツ大会への参加・イカ焼き模擬店出店」「小学校文化祭での山桜会まんじゅう等の販売」「横断幕支援」「記念品贈呈」などにより、学院ならびに各校PTAとの交流や、在校生の支援をしています。みなさん奮ってご参加ください。

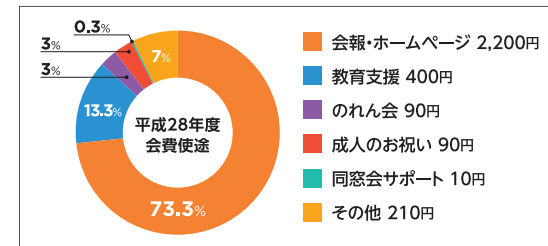


財務委員会

委員長 松井 環 (小86期)

適正な財務運営に努めていく

山桜会運営の予算案を作成し、各委員会の予算執行状況の管理および活動の会計管理を行うと共に、決算として年間の収支報告、財産目録の作成と報告を実施しています。また、会員の皆様に山桜会活動に関心を持っていただき、納めていただいた会費の使途をわかりやすく伝え、年会費の徴収率の向上と安定を図ることで会の活性化に努めています。平成28年度会費3,000円の使途は、下図の通りです。



広報委員会

委員長 藤原 弘邦 (高[茨木]24期)



唯一の情報発信ツールを運営

会報(年2回発行)およびホームページを活用し、各委員会活動の紹介や告知、同窓会開催案内や報告、小中高学校便り、会員紹介、東京支部便りなど、山桜会会員に対する情報発信を担っています。今後は発信方法の変化に対応しながら、新たなツールも交え、会員相互の情報伝達に役立てるよう努めていきます。また、会員で広報活動に興味をお持ちの方、お力をお借りできる方を募集しています。



同窓会サポート委員会

委員長 伊藤 菊久枝 (小87期)



卒業生同士の繋がりを深める

山桜会員の皆様に、同窓会ならびに山桜会学年合同同窓会を通じて、卒業生同士の繋がりと絆を深めていただくお手伝いをします。40歳同窓会に関しては、総会と同時開催することで、恩師の先生方や先輩・後輩との親睦にも繋がります。その他、同窓会開催などに関する広報活動(開催案内・報告のホームページ・会報への掲載)、名簿の管理・提供など、会員と山桜会の橋渡しを行います。



総務委員会

委員長 谷 嘉浩 (大手前中・高41期)

山桜会の活動を裏側から支える

総務委員会は総会、評議員会、理事会の準備や運営を通じて、山桜会の活動を裏側から支えてきました。特に夏の評議員会はビアパーティー、年末の評議員会は忘年会を併催して、会員相互の交流や懇親も図りました。参加いただいた会員同士で新たなつながりもできたようで、有意義な活動の場になったと感じます。今期も同様の活動を行いたいと思いますので、興味のある方はご連絡ください。



役員一覧表 [156名]

氏名				卒業期				
会長 副会長	平泉 惠一						茨高25	
	藤村 敬	小79						
	藤原 亮	小84	大中27				大高27	
	林 裕悟	小97						
	川口 正弘	小71	大中14				大高14	
	林田 隆行	小72	大中15				大高15	
	生川 紳一郎	小75	大中18				大高18	
	乾 眞美	小77						
	實来 扶佐子	小77	大中20				大高20	
	北村 寿彰	小79	大中22					
	竹林 真						茨高23	
	中川 厚子		茨中4				茨高24	
	藤原 弘邦						茨高24	
	理事	岡本 昭治		大中25				
篠矢 裕己		小83	大中26					
松井 環		小86						
伊藤 菊久枝		小87						
坂井 宏嗣							茨高31	
西川 優子			大中38				大高38	
乾 昌弘							茨高39	
谷 嘉浩			大中41				大高41	
今西 良介		小103						
山中 雄嗣		小103	大中46				大高46	
池田 賢八郎			大中47				大高47	
吉本 晴彦		小47						
川原 俊明		小71	大中14				大高14	
田口 順一		小78						
顧問 監事	石津 良行	小72	大中15				大高15	
	森田 和明	小72	大中15				大高15	
	田原 一	小59	大中2					
	後藤 良雄	小61	大中4				大高4	
	程 一彦		大中4					
	佐藤 文一郎	小63	大中6				大高6	
	石井 佳子	小68	大中11				大高13	
	大井 雅雄	小70						
	岩崎 信也		大中14				大高14	
	藤原 昌宏		大中14				大高14	
	山根 雅昭	小71	大中14				大高14	
	寺西 昭二	小72	大中15				大高15	
	評議員	赤坂 正明			大中17			大高17
		嶋野 義夫						大高17
能口 元良				大中17			大高17	
加納 常八							茨高18	
佐藤 新治							茨高18	
永井 秀明							茨高18	
西川 良彦							茨高18	
引田 瑞穂							茨高18	
谷 康平		小76						
賢田 肇							大高19	
西村 英俊		小76						
原 丈人		小76						
吉村 侑子							大高19	
森 嘉一							茨高20	
評議員	有澤 孝子	小78	大中21				大高21	
	向井 謙之		大中21				大高21	
	井上 敦雄	小79	茨中2				茨高22	
	高畑 俊一						茨高22	
	廣内 裕子		大中22				大高22	
	寶来 郁子	小79	大中22				大高22	
	岡本 安明	小80	大中23				茨高23	
	田中 裕美子	小80	大中23				茨高23	
	辻中 徳一						茨高23	
	轟 眞雷		大中23				大高23	
	泉谷 徹		大中24				大高24	
	小林 武則	小81	大中24				大高24	
	徳井 カヨ	小81	茨中4				茨高24	
	重里 欣孝						大高24	
評議員	恒川 鈴子						茨高24	
	中島 幸人						茨高24	
	廣瀬 晋						茨高24	
	藤井 良郎	小81						
	水内 潔						茨高24	
	榊原 康人		茨中5				茨高25	
	土畑 純子						茨高25	
	馬場 耕一郎						大高25	
	寶来 順子		大中25				大高25	
	山本 文里	小82	大中25					
	横井 徹						茨高25	
	吉田 明子						茨高25	
	東 龍平	小83	大中26					
	評議員	中本 収	小83					
前田 要之助		小83	大中26					
畠山 香二		小84					茨高27	
石田 裕将		小85	大中28				大高28	
嶋谷 優香							茨高28	
清水 一朗			茨中8				茨高28	
飯田 千里		小86	大中29				大高29	
植田 良美			茨中9				茨高29	
松本 朋子							茨高29	
中村 典子			茨中9				茨高29	
林 妙子		小86						
廣井 典子							茨高29	
前田 ひとみ		小86	大中29				大高29	
青山 さつき		小87	大中30				大高30	
評議員	永田 久史		大中30				大高30	
	深来 由起夫	小87						
	藤岡 宗						茨高30	
	渡辺 睦翁		大中30				大高30	
	上田 隆章	小88	大中31					
	上田 直宏						茨高31	
	田窪 大五郎	小88					茨高31	
	田中 泰子						茨高31	
	錦戸 さゆり	小89	大中32				大高32	
	西口 重秋						茨高32	
	上田 高義	小90	大中33				大高33	
	馬場 睦代	小90						
	井出 光太郎		茨中14				茨高34	
	尾田 薫						茨高34	
金田 正英		大中34				大高34		
評議員	河野 哲朗						茨高34	
	小角 由里子		大中35				大高35	
	廣沢 繁司		大中35				大高35	
	阪本 有貴						茨高36	
	上島 有哉	小94						
	馬場 耕一郎		大中37				大高37	
	梅田 佳子	小95						
	阪本 花恵		茨中18				茨高38	
	藤立 勇人	小95						
	松田 陽子						茨高39	
	松久 浩輝	小96						
	評議員	結南 俊也						茨高39
		天野 一郎	小97					
		佐野 篤志	小97	大中40				大高40
富 浩一郎		小97						
中村 文治							茨高40	
中谷 孝邦		小98	大中41				大高41	
二瓶 左知子		小98	大中41				大高41	
岩田 恵人			大中42				大高42	
岸本 圭司			大中42				大高42	
金馬 亮仁			茨中23				茨高43	
堀田 新介			茨中23				茨高43	
西田 真由子		小101						
長瀬 雄一郎		小103	茨中26				茨高46	
松田 敏明		小103						
評議員	水野 聡子	小104	大中47				大高47	
	吉川 航史	小104	大中47				大高47	
	井上 保		茨中28				茨高48	
	井本 達也	小105						
	松山 奈史	小106						
	長谷川 朋子		大中50				大高50	
	永木 友雪	小108	大中51				大高51	
	中矢 雅男		大中51				大高51	
	宮村 昭寛		大中51				大高51	
	森 大祐	小108						
	大島 健太	小109						
	田中 康太郎	小109						
	赤松 誉史	小110						
	原 尚彦		大中53				大高53	
中道 一孝		大中53				大高53		
評議員	高橋 亮平	小112						
	矢倉 鈴奈	小112	大中55					
	畑中 宏文	小113						
	濱田 彩子	小113						
	青木 朱音						茨高58	
	中島 敏靖	小115	大中58				大高58	
	辰田 有理子	小116						
	吉田 京香		大中63				大高63	

2016年7月23日

中・高[茨木] 硬式野球部OB・OG会

幹事 上田 直宏 (高[茨木]31期)

総勢約80名のご来賓、OB・OGが集まり、総会後の懇親会も大いに盛り上がり、追手門学院高校硬式野球部のますますの発展が予感される一日となりました。ご多用中出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。



2016年10月29日

中・高16期 第8回同期会

幹事 伊藤 友彦 (高16期)

大阪マルビル第一ホテルにて開催。司会進行は西村隆夫氏。赤井先生のご挨拶に始まり、竹内先生の乾杯で食事歓談に。その間、多くの方からショートスピーチをいただきました。閉会后、20名の方が三次会まで楽しく過ごしました。



2016年11月6日

大手前中・高 陸上競技部 OB会

幹事 多田 博資 (大手前中・高34期)

りんくう公園において42.195kmのリレーマラソンに挑戦しました。1人2kmずつタスキをつなぎ無事完走。その後、田中昭安先生を囲む親睦会も実施しました。これで6年連続の開催で、陸上部OB以外の方にも参加いただいています。



2017年1月15日

高[茨木]26期 還暦前プチ同窓会

幹事 小曾根 真喜雄 (高[茨木]26期)

出欠を取らない楽な集まりとして企画し、今回は「プチ」ということで先生方にはご案内をしませんでしたが、会報誌をご覧になった園村先生が駆けつけてくださいました。次回は3年後の還暦時に先生方もお招き盛大に開催させていただきます。是非ご参加ください。



2017年1月28日

小学校70期／中・高13期 70歳同窓会

幹事 大井 雅雄 (小70期)

20名の小学校70期・中高13期生が出席した今年の山桜会新年会は格別でした。皆の面立ちが、それぞれ歩んできた人生を象徴する顔で興味深かったです。誰かが積極的になれば、楽しい再会の機会も増すと思います。立候補者が現れるのを切に希望します。



2017年1月28日

小学校75期／大手前中・高18期／高[茨木]18期 65歳同窓会

幹事 小林 太郎 (小75／大手前高18期)

小学校75期、中高18期のメンバーが集まり開催。人生の重要な時期に机を並べた級友との再会に感謝しています。この期の同窓会が永く続くように、身体には気をつけましょう。同窓会サポート委員会の皆さん、お世話になりました。



2017年2月16日

大阪借行社附属小学校57期 同窓会

幹事 平井 信三 (小57期)

リーガロイヤルホテル(大阪)にて昼食会を開催。小冊子「追手門学院の歴史」、在学時の児童名簿の写し、校章入りの自製の葉等を配布した他、当時の集合写真を見ながら往事を振り返りました。最後に「かたじけなくも」「金剛石」を斉唱。再会を約束して中締めしました。



写真左上から：小泉 三千夫／角谷 正／作田 共平／榎並 誉夫／平井 信三／三好 秀和／小山 武俊／山本 修滋／成山 賢仁／中村 利治／川島 弘

2017年2月18日

小学校79期は組 同窓会

幹事 北村 寿彰 (小79／大手前中22期)

2017年2月18日ヒルトンプラザウエストにて開催。約50年ぶりに顔を合わせた蔵野君、小林君をはじめ16名が出席され、小学校時代にタイムスリップし、思い出話に花がさきました。二次会も含め、とても楽しい時間を過ごすことができました。



追手門学院 同窓会通信

山桜会で開催された同窓会と今後開催予定の同窓会の情報について紹介いたします。

詳しくは山桜会オフィシャルホームページへ
<http://yamazakurakai.com/>

▶これから開催する同窓会のご案内 | 皆様お誘い合わせの上、ご来会ください

高[茨木]アメフト部 創部50周年記念式典

上記式典の関係者におかれましては、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。往復はきのご案内がない方は、右記へ問い合わせください。

【開催日】2017年6月11日(日) 16:30受付開始
【会場】ホテルグランヴィア大阪
【参加費】18期から53期=10,000円／54期以降=5,000円
【幹事】実行委員長 行田 眞吾(高[茨木]20期) 集計係 金馬 亮仁(中[茨木]23／高[茨木]43期) MAIL: kinba@rintray.jp

剣道部OB・OG会 総会

第16回総会、懇親会及び“卒業生を祝う会”を開催いたします。高校剣道部OB・OGの方々、多数のご参加をお待ちしています。

【開催日】2017年6月11日(日)
総会／12:00より 懇親会／13:00～15:00
【会場】心斎橋 中国料理 大成閣 TEL: 06-6271-5238
【参加費】8,000円(女性5,000円、30歳未満4,000円、学生は年齢問わず無料)
【幹事】OB・OG会 会長 網干 勝裕(高[茨木]24期) TEL: 090-7759-7561

中[茨木]8期 同窓会

今回は初めての親子同窓会です。その当時の父母会との合同開催になります。ホームページの告知もご参照ください。

【開催日】2017年6月17日(土) 18:00より
【会場】ホテルグランヴィア大阪 19階 フレンチレストラン フルーヴ
【参加費】8,000円
【幹事】馬淵 泰宏(中[茨木]8期) TEL: 090-7354-4036

高[茨木]硬式野球部OB会

12時から総会を開催し、続いて13時より追手門学院野球部の試合が同校グラウンドで行われますので、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

【開催日】2017年6月18日(日) 12:00より
【会場】追手門学院茨木高校グラウンド
【参加費】無料
【幹事】上田 直宏(高[茨木]31期) TEL: 090-3352-1546

大手前中・高19期 同窓会

2年ぶりの同窓会を開催します。65歳を迎える年となりました。お誘い合わせのうえご出席くださいますようお願いいたします。

【開催日】2017年7月9日(日) 12:00～15:00
【会場】ホテルグランヴィア大阪
【参加費】10,000円
【幹事】西保 吉裕(大手前中・高19期)

小97期 大大大同窓会 2017

すでに東田先生と田邊先生から出席のお返事をいただいています。当日、飛び切りの報告があるかもしれません。奮ってご参加ください。

【開催日】2017年7月30日(日) 昼
【会場】桃谷樓 ヒルトンプラザウエスト店
【参加費】7,000円程度(未定)
【幹事】天野 一郎(小97期) MAIL: i-amano@leto.eonet.ne.jp

高[茨木]34期 50歳同窓会

50歳という節目に集うべく同窓会を企画しました。様々な人生を歩んでおられると思いますが、ここで一度当時に戻ってみませんか。

【開催日】2017年9月17日(日) 11:00より
【会場】新阪急ホテル 花の間
【参加費】9,000円
【幹事】井出 光太郎(中14／高[茨木]34期)
TEL: 070-5664-1484 お申し込みはこちらから▲

高[茨木]24期 還暦同窓会

今年は還暦に合わせての記念すべき同窓会。多くの仲間と若き日の時間旅行をお楽しみください。詳細は事前にご案内状をお送りいたします。

【開催日】2017年10月28日(土)
一次会／13:00～15:30 二次会／16:00～18:00
【会場】一次会／グランキューブ大阪12階 レストラン グラントック
二次会／中之島クルージング
【参加費】10,000円(一次会) 【幹事】中島 幸人(高[茨木]24期)

大手前中・高 陸上競技部OB会 (陸上部OB以外も参加OK)

りんくう「ハロウィン」リレーマラソン2017(仮装なし)に参加しませんか。1人2kmずつで42.195kmを完走します。誰でも参加OKです。

【開催日】2017年10月29日(日) 11:00より
【会場】JRりんくうタウン駅改札を出て右側(リレーマラソン参加受付前)
【参加費】2,000円 【URL】<https://www.joyspo.com/entry/?id=80>
【幹事】多田 博資(大手前中・高34期) MAIL: h_tada@horitomi.co.jp

小81期 還暦同窓会

還暦という人生の節目を機に、小学校時代の元気で希望に満ちた私たちに再び生まれ変わる“還暦同窓会”を開催いたします。

【開催日】2017年11月11日(土) 18:00より(受付17:30)
【会場】太閤園 2階 エメラルドルーム
【参加費】15,000円(一次会:12,000円、二次会:3,000円)
【幹事】高橋 一博(小81期／大手前中24期／高[茨木]24期)
TEL: 090-8939-6451

山桜会 | 活躍する卒業生 INTERVIEW

高校時代の交流が、私の経営者としての礎に

関西エアポート株式会社 代表取締役社長 山谷 佳之氏 (高[茨木] 23期)



昨年4月1日より空港民営化の第一弾として関西空港と伊丹空港の運営を行っています。

大阪は、東京に比べて約1時間アジアに近く、また観光資源に恵まれているので今後も観光分野での成長が見込めますが、新しいビジネスを立ち上げてアジアとの交流のパイプを太くしていくことが課題です。空港を運営する立場で関西の経済の

成長に貢献していきたいと思います。

私は、昨年還暦を迎え高校(茨木学舎)を卒業して40年以上が経ちますが、体育祭、文化祭、クラブ活動など昨日のことのように思い出されます。また、私の経営者としてのバックボーンとなる考えは、高校時代の経験や友人、先輩、後輩、恩師との交流から身についたものだと考えております。なかでも、軟式テニス部の顧問である佐々木徳夫先生には大変お世話になりました。中途半端な行いを許さず、しかし、常に暖かいまなざしで努力を促された、先生の教えることをありません。残念ながら他界されて久しく、御礼の申し上げようもないのですがこの場をお借りして心より感謝を申し上げます。



安威祭の様子

軟式テニス部で部長として活躍

(やまや・よしゆき) 大阪府出身。1980年、神戸大学卒、オリエント・リース(現オリックス)入社。常務、専務などを経て、2015年6月から副社長。2015年12月より関西エアポート株式会社社長に就任。

東京山桜会

TOKYO

東京山桜会 第18回校外教授

佐伯 文子 (大手前中・高19期)

2016年11月26日、21名の参加で青山霊園にある「母校の創設者高島鞆之助先生墓所の墓参」と白金台の「畠山記念館の観覧」を催しました。

まず、銀杏並木が黄金色に輝く神宮外苑近くの南青山にある蕎麦酒房「桜杏」で、新そばのコース料理の昼食に舌鼓を打ちながら和気藹々と歓談。昼食後、青山霊園に移動し、霊園管理事務所のすぐそばにある高島鞆之助先生のお墓を全員で掃き清め、神道式で榊をお供えた上、先輩から



順に創設者の遺徳を偲びながら母校の発展を祈念しました。

追手門学院は、創設以来の校風である「中正道を指針とし、質実剛健でありながら進取の精神」を受け継いでさらなる前進を続けて行くことでしょう。

2015年10月に学院主催の没後百年記念墓参会がありましたが、今回東京山桜会として高島先生と奥様やご家族が眠る広い立派なお墓にお参りすることができて感無量でした。

墓前で記念撮影をしてから、茶室を配した美術館として知られる白金の畠山記念館に移動。開催中の展覧会「天下人の愛した茶道具」を学芸員の特別解説を受け、観覧しました。室町後期に誕生した侘び茶は、江戸時代に向け

て変遷、展開を遂げましたが、ことに信長が名物茶碗を積極的に求めたことから、武将たちの間に茶の湯ブームが巻き起こりました。

美術館には「国宝の煙寺晚鐘図」や「豊臣秀吉の書状」「千利休作の茶杓」など茶の湯にちなんだ逸品が並び目を見張りました。館内にあるお茶室でお菓子とお抹茶をいただき、紅葉半ばの趣のある庭を眺め、しばし都会の喧騒を忘れて貴重なひとときを皆で楽しんだ後、会員は夕暮れの中を家路につきました。

次回第19回校外教授

秋頃の開催予定です。詳細につきましては事務局松村までお問い合わせください。TEL: 090-9397-2759



追手門学院大学 校友会会報

第84号

2017年 6月

追手門学院大学 校友会 会長 林田 隆行
[事務局] 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20 追手門学院大阪城スクエア
(追手門学院大手前中・高等学校 本館6階)
TEL: 06-6943-8400 FAX: 06-6943-8401
URL: http://otemon.org
E-mail: info@ogu-koyukai.com

会長挨拶

大学校友会会長の二期目にあたって



追手門学院大学 校友会
会長 林田 隆行
(2期生 文社)

2013年から4年間の任期を終え、このたび再任いただき、また3年、会長を務めさせていただく事になりました。先の4年は大学校友会の再生と発展をめざし、委員会活動を中心に組織の拡充と活性化を図ってきました。これからの3年は、校友会の目的である、母校追手門学院大学の発展に寄与することと、会員相互の親睦を深めることに最優先で取り組む所存です。

支部・同窓会支援委員会と体育文化振興支援委員会を合体させ、新たに支部支援委員会と同窓会支援委員会として再スタートいたします。人材発掘のための二号評議員制度を生かし、校友会活動に参加していただく人の輪を広げながら、2019年開校の新キャンパスの支援へつなげてゆきたいと考えています。

校友会の諸活動に対し、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

Photo Library

3月17日に卒業式が開催され、1,360名が卒業、4月1日の入学式では学部・大学院合わせて1,928名が新たに入学しました。

2016年度 卒業式

第48期 学部
第43期 大学院



2017年度 入学式

第52期 学部
第45期 大学院

新執行部就任のお知らせ

4年の任期を終え、役員改選を実施し、以下の役員が新たに選任されました。2期目の運営を迎える林田会長をはじめ、全役員が一丸となって校友会の発展に尽くしていきます。今後3年間よろしくお願い致します。

会長
林田 隆行（2期生 文社）



副会長
吉田 浩幸
(6期生 文社)

再び副会長を任命され、身が引き締まる思いです。微力ながら、会員相互の親睦と追手門学院大学の発展に尽くしたく存じます。昨年度は大学創立50周年を共に祝い、式典を成功裏に終えることができました。きたる2018年の学院創立130周年事業と2021年の校友会結成50周年記念事業も、皆さまと共に進めて行きたいと考えております。



副会長
野出 靖宏
(14期生 経経)

広報委員会を管掌する副会長を拝命いたしました。微力ながら、会員相互の交流と親睦、母校の発展に尽くしたく存じます。校友の皆さまの交流の様子や活躍されている様子、そして在学生や追大の様子などを会報、Facebook等を通じて発信し、これまで以上に双方向の情報交換をしていきたいと思います。皆様からの投稿をお待ちしております。



副会長
生川 紳一郎
(6期生 経営)

校友会も誕生50年の大学と共に、社会性が問われ競争の時代です。そのために皆様への協力に努力をして参りましたが、物足りなさを認めません。さらに新キャンパス構想に則り、現役学生ともうまくコラボしながら継続事業や新企画に向け、短期・中期・長期構想のもと新しいリーダーの模索と構築をしていきたいと思います。



副会長
永井 秀明
(5期生 経営)

支部支援委員会を担当する副会長を拝命いたしました。前任者並びに関係各位のご努力により新支部の設立が相次ぎ、現在10支部となりました。一方、広域な支部は多くの課題を抱えているのも現状です。支部長、支部会員、支部支援委員各位のご意見をいただきながら、支部活動の更なる活性化を目的に支部組織の改革に取り組んで参ります。

〔特別委員会〕 周年事業 委員会



委員長
森 嘉一
(7期生 経経)

周年事業としては、2018年に学院創立130周年があります。2019年には大学第二の学舎が竣工、2021年には大学校友会創立50周年を迎えます。皆様のご協力を得まして、少しずつですがしっかりと進めて参りたいと思っております。

総務委員会



委員長
藻川 芳彦
(8期生 文社)

今期も林田会長2期目の運営に携わることとなりました。総務委員会は校友会活動を円滑に進めるために、諸規程の整備、各種会議開催や活動記録の保管等、諸活動を支える業務を行っています。各種行事は、皆様の協力があってこそ実施できます。お力添えをよろしくお願いします。

広報委員会



委員長
矢島 秀和
(34期生 文ア)

「広報」はPR(Public Relations)とも表現され、換言すれば「校友会員の皆様との関係性を構築する」という意味になります。「広報委員会」では、会員の皆様への「情報発信」はもとより、会員の皆様との「双方向型コミュニケーション」の構築を目指し、広報委員20名とともに、新たな広報を企画展開してまいります。

企画事業委員会



委員長
岡 正樹
(6期生 経営)

「短期計画・中期計画・長期計画を立てる」「支部支援委員会・同窓会支援委員会と連帯を図る」「評議員会のための企画・事業でなく、会員が参加しやすいものを計画する」「評議員会に報告し全体としての活動と認識を高める」「現役学生と連帯を高める」ことを基本に、16名のメンバーで企画事業を進めて参ります。

同窓会支援 委員会



委員長
玉井 史郎
(22期生 経営)

当委員会は、校友会活動の原点とも言うべき、校友の皆様と同窓会活動を支援する委員会です。学部・ゼミ同窓会、クラブOB・OG会、還暦同窓会、職域部会といった同窓会組織の活動支援を行っています。これからも、校友の皆様にとって、最も身近な存在として活動の和を広げて参りたいと思います。

支部支援委員会



委員長
美濃岡 伸也
(7期生 経営)

学生当時、学友会・副委員長総務として大学と協調して活動をしていました。大学当局の強力な支部支援対策をお伺いし、大変な役目だとも感じておりますが、当時の学友会・体育会・文化会・無所属委員会のメンバーや新しい支部支援委員会の皆様のお力をお借りし、精一杯職務を全うしていきたいと思います。

▶ 役員一覧表 [101名]

	氏名	卒業期
会長	林田 隆行	2期生 文社
副会長	永井 秀明	5期生 経営
	生川 紳一郎	6期生 経営
	吉田 浩幸	6期生 文社
	野出 靖宏	14期生 経経
	賛田 肇	6期生 経営
常任理事	美濃岡 伸也	7期生 経営
	森 嘉一	7期生 経経
	玉井 史郎	22期生 経営
	矢島 秀和	34期生 文ア
	大橋 陽一	2期生 経経
理事	前田 順一	3期生 経経
	蟻柴 潤一	5期生 文社
	岡 正樹	6期生 経営
	川崎 昭一	8期生 文心

	氏名	卒業期
理事	藤尾 政弘	8期生 経営
	武藤 昇	8期生 経経
	藻川 芳彦	8期生 文社
	官浪 伸次	9期生 経経
	田中 裕美子	10期生 経営
	山口 陽子	12期生 経営
	大坂 幸司	13期生 文東
	押川 新一	14期生 文英
	畠山 香二	14期生 経営
	嶋谷 優香	15期生 経営
	藤原 亮	15期生 経経
	渡辺 睦翁	17期生 経営
	大塚 高司	20期生 経営
	高本 優一	22期生 経経
	藤田 真由	27期生 文社

	氏名	卒業期
評議員	田中 克茂	30期生 経営
	磯浦 由佳	38期生 営国
	井上 貞彦	1期生 経経
	小寺 敏夫	3期生 経経
	辻本 健仁	3期生 経経
	上田 静生	4期生 経経
	加納 常八	5期生 経営
	下櫻 春道	5期生 経経
	藤本 英治	5期生 文社
	木村 眞琴	6期生 経経
	野村 國男	6期生 経営
	山口 人士	6期生 経経
	石原 力	7期生 経営
	宮本 幸治	7期生 文英
	米谷 豊	7期生 文東

	氏名	卒業期
評議員	青木 敬	8期生 文社
	越智 英二	8期生 文英
	鎌谷 一志	8期生 経営
	木村 力造	8期生 文社
	久保 圭子	8期生 文英
	八木 彰彦	8期生 経経
	喜多 博	10期生 経営
	小林 武則	11期生 経経
	山本 保弘	12期生 経営
	山本 友亮	12期生 文英
	渡邊 一則	12期生 文社
	高谷 昌平	14期生 文東
	廣保 幸二	14期生 経経
	清水 一郎	15期生 経経

	氏名	卒業期
評議員	乗松 尚	15期生 文心
	内田 憲博	16期生 文心
	小東 要一	17期生 文東
	坂井 宏嗣	18期生 経営
	西川 利治	18期生 文東
	越智 文章	19期生 経経
	立石 正彦	19期生 経経
	中島 正悟	19期生 経営
	辰巳 佳子	20期生 経経
	辻本 俊郎	21期生 文東
	林元 光広	21期生 文心
	小林 嘉彦	22期生 文社
	土谷 尚子	22期生 経営
	片山 貴子	25期生 文東
	田村 誠治	26期生 経営

	氏名	卒業期
評議員	樽谷 隆弘	27期生 経営
	東條 竜一郎	27期生 文心
	溝上 裕介	27期生 文社
	三原 ナミ	27期生 文社
	鈴木 圭史	29期生 経営
	秋吉 崇仁	32期生 経経
	近藤 寛樹	32期生 文ア
	辻村 健悟	36期生 営国
	荻野 裕樹	38期生 経経
	中西 宏	38期生 人心
	運天 政元	39期生 文ア
	山元 隆広	41期生 経営
	太田 裕一	42期生 営営
	中西 悠	43期生 心心
	船本 洋	43期生 経経

	氏名	卒業期
評議員	中野 翔太	43期生 経ヒ
	橋本 由貴	44期生 心心
	北川 健介	45期生 国ア
	田中 智明	45期生 営マ
	辻村 龍彦	1期生 経経
	能口 元良	4期生 経経
	古橋 忠男	7期生 経営
	関 謙二	1期生 経経
	鶴 毅	1期生 経経
	平野 昌雄	1期生 経経
	宮本 正仁	1期生 文英

支部長一覧

東京	島田 朗仁	17期生 経経
東海	高井 郁子	9期生 文心
滋賀	近藤 眞弘	9期生 経営
京都	矢島 秀和	34期生 文ア
和歌山	山下 直也	11期生 経経
兵庫	官浪 伸次	9期生 経経
中国	筒井 弘祐	6期生 経経
四国	中川 純	21期生 文社
九州	岩崎 陽一	6期生 文東
沖縄	神崎 義光	11期生 経経

阿波踊りを見に行こう

活気溢れる夏祭り 感動のひとときを徳島で

初日は新大阪駅より貸切バスで、宿泊先となる鳴門グランドホテルへ移動。同日の夜に、徳島市内の桟敷席にて阿波踊りを見物します。翌日は鳴門海峡のうず潮を橋上より見学するほか、淡路島に移動して島内を観光します。解散は15時頃大阪駅付近となります。

【日時】2017年 8月12日(土)・13日(日) 【締切日】2017年 7月12日(水) 【定員】25名
【会費】43,000円 ※男女別相部屋(和室)、食事(朝1回/昼2回/夕1回)、夕食時宴会費・阿波踊りの桟敷席料含む
【集合日時・場所】2017年8月12日(土) 11:00/JR新大阪駅「動輪」前(1階正面口)



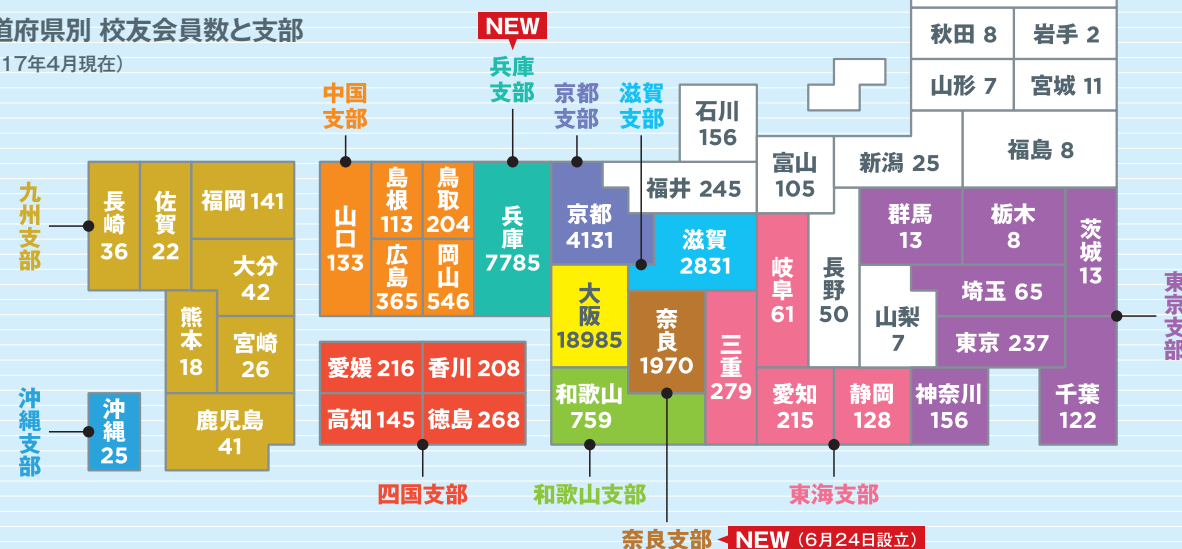
同窓会を楽しもう!

詳しくは校友会ホームページへ
<http://otemon.org/>

皆さまの参加をお待ちしております。

全国10支部で開催されている同窓会は、地元の会員だけではなく、支部を超えての参加はもちろん在学生の参加も可能です。様々な同窓会に出席して、校友会の絆を全国に広げていきましょう。

都道府県別 校友会員数と支部 (2017年4月現在)



前学長 坂井 東洋男 退任のご挨拶

さよならだけが人生だ

前学長 坂井 東洋男

3月末の任期満了をもって学長を退任させていただきました。校友会の皆様、とりわけ林田会長をはじめ役員の皆様には、4年8か月の在任中、ひとかたならぬ誼を賜りました。

学内誌『リベルタス』にも退任のご挨拶「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」を書いたので、ここでは繰り返しません。

人生に別れはつきもの。というわけで、私は井伏鱒二の『厄除け詩集』所収の「酒を勧める」の妙訳、さよならだけが人生だ、をこよなく愛誦しています。惜別の情を深くこめたもので、その詩の後半部分の直筆の書額も古書



店で大枚を(?)はたいて買いました。骨董趣味の数少ないものの一つです。その原詩の後半は「花発(ひら)くとき 風雨多し 人生 別離足る(多い)」。

直訳すると、花が咲くと 雨が降ったり風が吹いたりするもの 人生に 別離はつきもの。

これを、井伏鱒二は「はなにあらしのたとへもあるぞ さよならだけが人生だ」と思い切りひねって訳しているんです。別れのこの酒宴では、心ゆくまで飲みましょう。

別れの場での酒宴で思い起こすのは、テレサ・テンも歌った「何日君再来」(つぎはいつお目にかかれるの)の中国語バージョンです。

せめて今は、心ゆくまで飲みましょう、召しあがりましょうよ。彼女は日本語でも歌っていますが、歌詞の趣旨はだいぶ違います。

何かの折には皆様にまたお目にかかります。かさねてご厚誼に御礼申し上げます。

校友会 新会員からのメッセージ

校友と追大生とのかかわり ～“今”を伝える架け橋に～



神戸 春佳 (48期生 営マ)

入学してしばらくは、「校友会って何?」というのが率直な感想でした。私もこの春から新社会人となり、5万人近くからなる昭和、平成の追大卒業生、つまり校友の一人となりましたが、どのような活動をしているのか、学生意識委員会(C.S.C.)での活動がなければ、そのかわりは薄かったと思います。

しかし、卒業生としての誇りを持って、母校(追手門学院大学)の発展のために、自己のできる範囲で貢献すること。それが、学生と校友の方々との意見交換の場だけでなく、地域の清掃活動や将軍山祭、クラブ活動への支援などだった

んだと、今になって実感するばかりです。校友会の一員となった今、機会があれば、学生時代に校友と追大生との“架け橋”になれるように汗を流した経験を、広く伝えたいとも思っています。

この会報を通じて、校友会について知らない追大生に、「校友会」を身近な存在に感じてもらえればと願っています。

校友にとっても、最近の学生気質や、離れて久しい追大のキャンパスが進化する姿を知るきっかけになればとも考えています。そして全国に広がる追大と校友の交流の輪が、社会に広がり浸透していくことを期待しています。

将軍山奨学金授賞式

「将軍山奨学金」1期生の授賞式が行われました

校友会と在校生の交流の架け橋および、将来の校友会支部活性化を担う人材の育成を目的として、2016年度に校友会は「将軍山奨学金制度」を設立。栄えある第1期生の授賞式は、2017年3月26日校友会評議員会(追手門学院大手前中・高等学校視聴覚室)において行われました。奨学金を受給した学生たちから、以下の感謝の言葉が寄せられました。



奨学金授賞式の様子

奨学生からの感謝の言葉

私は将来に向けて、資格取得の勉強に励んでいます。昨年は学内の資格取得講座を利用し、世界遺産検定2級に合格することができました。この資格で得た知識を、2018年の世界遺産候補地である地元の長崎県での地域活性化に結び付けたいと思います。また4年間を通して学芸員資格の取得、さらにTOEIC®などの検定試験も視野を入れており、この奨学金を学費だけでなく、資格取得の費用としても使わせていただきたいと思います。

松尾 有起 (地域創造学部 地域創造学科2年)

学会への参加やワークショップの受講、交通費などの費用をアルバイトで賄ってきました。奨学生に採用されるまで学業の時間もアルバイトにあてていましたので、奨学金の有効活用により、研究活動や学習により時間を費やすことができます。今後は学会へ積極的に参加したり、ワークショップを受講したりすることでさらに能力向上に励み、奨学生第1期として修士課程修了後、2期生以降に誇れるような人間になれるよう努力を続けます。

橋本 勇真 (大学院心理学研究科 臨床心理学コース)

院生になって学会など様々な場所へ伺うことが多くなり、学内だけではわからなかった貴重な体験ができています。そこで、もっと活動の幅を広げ、学ぶ機会を増やしたいという思いから応募させていただきました。奨学生に選んでいただいたことで私自身の研究活動を充実させると同時に、追大の先輩方とのかかわりも一層増やしたいと考えています。校友会での出会いから多くのことを学び、自分自身の成長の力に変えて行きたいと思っています。

古谷 有佳理 (大学院心理学研究科 臨床心理学コース)

EXTRACURRICULAR ACTIVITIES
CLOSE-UP

クラブ活動・課外活動を応援しよう!

Vol.2

▶チアリーダー部

エリートガール部門世界1位に。
校友会のご支援のお陰で
競技に集中できた成果です。

経済学部 経済学科4年

梅原 有希さん

追手門学院大学学友会応援団チアリーダー部 Soldiers

チアリーダー部は、硬式野球部、アメリカンフットボール部の応援に加え、校友会のイベントや各種の学内行事、さらには地域のイベントなどを活動の場に使っています。もう一つの軸は大会への参加です。2017年1月にアメリカで開催された「世界大学チアリーディング選手権(WUCC)」では、念願のエリートガール部門優勝という成績を収めることができました。

校友会の皆様には日頃からお力添えをいただいているのですが、本出場に際して多額のご支援をいただき、渡航費、宿泊費を心配することなく競技に集中できたことが世界1位という成果に結びついたと感謝しております。チアリーダー部は私の代から、ダンス部門とチアリーディング部門の2部門で活動しています。世界大会での優勝や規模の拡大といった現在の部の発展は、先輩方が築いてくださった伝統のうえに成り立っていることを常に感じています。今年度中にはリーダー部と吹奏楽団との3部の連携を本格化できるよう、現在話し合いを進めています。今後とも私たち学友会応援団チアリーダー部をよろしくお願い申し上げます。



mon を開いた卒業生

社会で活躍する追手門学院の卒業生

自身の履歴には、追手門出身であることを必ず記載しています

株式会社LIXILビバ

代表取締役社長 渡邊 修氏（追手門学院大学 9期）

（わたなべ・おさむ）大阪府出身。1978年追手門学院大学文学部（現：国際教養学部）卒、ダイエー入社。03年トステムビバ（現LIXILビバ）入社、取締役兼専務執行役員営業本部長を経て、2014年、株式会社LIXILビバの代表取締役社長兼COOに就任。

私が追大に在学していた時代は、まだ2学部だけのこぢんまりとした「カレッジ」で、自由かつ活発な明るい学風を楽しんでいました。勉学はほどほどに、学園祭で模擬店を出したり、柔道部の夏合宿のとき将軍山の墓地で肝試しをしたり、クラブ対抗のソフトボール大会を開催したり、充実した学生生活を送りました。就職は当時成長企業であったダイエーに決めたのですが、入社試験に際して学長推薦を求められ、学長だった天野先生にお願いして書類を作成していただいたのを覚えています。



柔道部時代の渡邊氏（写真中央）

ダイエーでは店舗勤務を経て、約10年間バイヤーとして仕入れのため世界約20カ国を奔走するという経験もしました。その後、営業本部長や子会社社長などを歴任し、2003年に退社と同時に当社へ入社。3年前から現在の役職を務めています。

LIXILビバは2017年4月、東証一部上場を果たすことができました。日本の住まいと暮らしの専門店として、衣食住における住のイノベーターという役割を遂げたいと思います。

当社は近年、大阪へ出店するようになったことで、関西圏でも採用活動を行っています。そこでありがたいことに、追大からも人材を送っていただける関係ができました。採用を通して、30数年ぶりに母校との接点をいただけたことを実に嬉しく感じています。改めて母校を振り返ると、あの小さな「カレッジ」だった追大が大きく成長していることに感銘を受けています。規模が大きくなっても、設立当時から自由な学風は失われていないと聞いています。社会も学校も同質化が進むなか、50年間にわたって大学としての個性が伝承されていることは立派な伝統といえます。この伝統を守るカルチャーがあるからこそ、発展できたのだと思います。今後も個性的な人間が育つ環境を堅持してほしいと願っています。

関東にいと、追手門学院出身者とお会いする機会は決して多くないのですが、私は追大の卒業生であることを知ってもらうために、自身の履歴には必ずそれを記載するようにしています。そのことがご縁



で、名刺交換などの際に「私も追手門です」「身内が追手門です」と名乗り出てくださる方と出会います。喜ばしいことです。追大の卒業生をはじめ追手門学院出身者は全国各地で活躍しています。ぜひ皆で追手門学院出身だと声をあげて、各地でコミュニティが築かれるようになることを期待しています。



ビバホーム
LIXIL VIVA

株式会社LIXILビバ

埼玉県さいたま市浦和区に本社を置く、ホームセンターチェーン「ビバホーム」等の運営を行なっている企業。元々は、住宅建材メーカー大手トステムやINAX等の住生活グループの主要会社再編により発足したLIXILの誕生に伴い、商号をLIXILビバに変更した。2017年4月、東証一部上場。

INFORMATION

●追手門インフォメーション

01 創立130周年記念式典のお知らせ

追手門学院は2018年に学院創立130周年という大きな節目を迎えます。これを記念して、2018年11月7日（水）、大阪城ホールにおいて記念式典を開催します。詳細は改めてご案内します。なお130周年に向け、学院全体のスローガン「現代未聞 追手門—130年の伝統を革新の力に—」を定め、オール追手門を挙げて教育改革に取り組んでいます。スローガンには130年の伝統をベースに、未来に向けてこれまでにない新しい教育に挑戦しつづける、学院の姿勢を表しています。



現代未聞 追手門
130年の伝統を革新の力に

03 「mon」の発行形態の検討について

本誌はこの度、学院初の山桜会報、校友会会報を統合した形で発行しました。IT化の流れや電子書籍の普及を受けて、2020年度をメドに紙媒体での発行廃止も含めた形態の見直しを検討中です。発行形態へのご意見などをお寄せください。

mail koho@otemon.ac.jp

02 母校のためにあなたの「想い」を遺せます

没後、ご自身の財産を親族に限らず、相続人以外の特定の人や団体に寄付することを「遺贈（いぞう）」といいます。遺言を遺すことで、事前に準備することができます。「社会に貢献したい」「頑張っている後輩たちを応援したい」——そんな想いを遺贈によるご寄付でお受けしております。原則、相続税が非課税になります。詳しくは趣意書をご覧ください。担当までお問い合わせください。

学校法人追手門学院 総務室 周年事業推進オフィス
〒567-0008 大阪府茨木市西安威2丁目1-5
TEL:072-641-7441 / FAX:072-641-7442
MAIL:gakuin130th@otemon.ac.jp

04 メールアドレスの登録をお願いします

追手門学院では学院をはじめ大学校友会、校友会山桜会の最新情報、活動情報などをお伝えするメールマガジンを発行しています。下記URLよりメールアドレスをご登録ください。

URL <http://www.otemon.jp/otm-m/>



追手門学院大学における履修手続問題について

本年4月の履修登録手続きにおいて、短期間にシステムへのアクセスが集中したことに伴うトラブルが発生し、学生および関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけしました。経緯につきましては4月7日付本学ホームページに「履修登録手続き問題を超えて」として報告しましたが、手作業での登録と学生への個別対応の強化を行った結果、遅滞なく完了しました。なお、今回の問題に端を発して「大学内で火花が打ち上げられた」「爆竹が投げ込まれた」といったデマが流れましたが、そうした事実は一切ありません。大学近くの神社の祭りの打ち上げ花火の音を勘違いしたものと確認しています。今後こうしたことが二度と起こらないよう改善に努めます。

大学校友会事務局、山桜会事務局移転のお知らせ

追手門学院大学校友会事務局と追手門学院校友会山桜会事務局は、2017年4月1日付で、大阪城スクエア（追手門学院大手前中・高等学校本館6階）に移転いたしました。事務局の移転を契機に、学院・大学校友会・山桜会の三者がこれまで以上に緊密に連携し、同窓会活動の活性化を図ってまいります。よろしくお願い申し上げます。

移転先住所 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-20 追手門学院大阪城スクエア（追手門学院大手前中・高等学校 本館6階）

山桜会
電話番号 **06-6940-3481**
FAX番号 **06-6940-3482**
mail office@yamazakurakai.com

校友会
電話番号 **06-6943-8400**
FAX番号 **06-6943-8401**
mail info@ogu-koyukai.com

